

平成 27 年度 8020 運動推進特別事業 事業報告

○青年期における歯と口の健康サポーター養成事業
(一般社団法人大阪府歯科医師会委託事業)

1 事業目的

大阪府内における大学・短大・専修学校（以下「学校」とする）における保健担当者を「歯と口の健康サポーター」として養成し、「歯と口の健康サポーター」が学校において、学生に対し歯科口腔保健の重要性について意識づけを行うことにより、学生の歯科口腔保健の意識向上を図る。

2 事業結果

2-1 歯と口の健康リーダー連絡調整会議の実施

平成 27 年度事業の実施に当たり、歯と口の健康リーダー（地域における公衆衛生事業の中心的役割を担う歯科医師）と有識者（歯と口の健康サポーター養成プログラム検討会委員）の間で、歯と口の健康リーダー連絡調整会議を行った。

○「歯と口の健康リーダー連絡調整会議」概要

【開催日時】平成 27 年 10 月 6 日（火）16 時 30 分～18 時 00 分

【講師】大阪府歯科医師会理事 山上 博史

【協議・説明内容】

- ・「歯と口の健康サポーター手引き」の使用方法
- ・「学生に対する普及啓発用媒体」の使用方法
- ・「歯と口の健康サポーター養成研修会」の開催方法
- ・歯科口腔保健の重要性についての動機づけの方法
- ・事業施設実施地域の選定（特定の地域に偏ることがないように取り組む）
- ・平成 26 年度事業の効果検証
- ・その他、事業実施に関わる事項

【参加者】20 名

（参加地区：サポーター養成研修会実施地区 9 名、周知広報実施地区 11 名）

2-2 歯と口の健康サポーター養成研修会の実施

「歯と口の健康リーダー」が中心となり、「歯と口の健康サポーター養成研修会資料」（平成 26 年度事業作成資料）を活用し、大学・短大・専修学校における保健担当者等に対し、学校において「学生に対し歯科口腔保健の重要性について意識づけ」を行うための取り組みを行う「歯と口の健康サポーター」として育成するための研修会を、地域において合計 4 回行った。

平成 26 年度に周知広報・実態調査を行った学校（48 校）のうち、平成 26 年度サポーター養成研修会に参加していない学校（41 校）に、研修会への参加を呼びかけた。研修会への参加校は合計で 16 校、参加者は合計で 20 名であった。

【研修会内容】

- ・学校における歯と口の健康づくりの意義について（講義形式）

- ・歯と口の健康づくりに関する基礎知識（講義形式）
- ・歯と口の健康づくりに関する意識向上について（ワークショップ形式）

(1) 地域における「歯と口の健康サポーター養成研修会」実施状況

(ア) 圏域名：大阪市

【開催日時】平成27年11月12日（木）13時～14時30分

【開催場所】ホテル阪神

【研修会講師（ファシリテーター）】（順不同・敬称略）

福島区歯科医師会地区代表者 垣内 康弘

福島区歯科医師会副地区代表者 藤井 章司

【参加者】2名

【参加校】2校

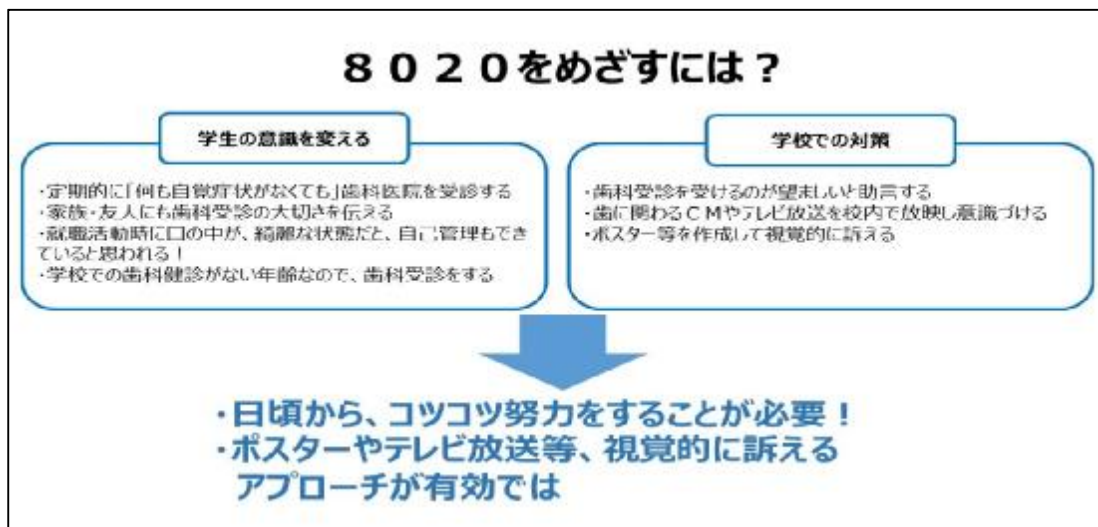
【研修会の進行表】

本日の進行

13:00～13:05	開会 あいさつ
13:05～13:10	参加者等の紹介
13:10～13:20	事業説明1 本事業実施背景と大学・短期大学・専修学校における歯と口の健康づくりの意義について
13:20～13:30	事前説明2 歯と口の健康づくりの基礎知識
13:30～13:35	事業説明3 ワークショップの進め方と本日のテーマについて
13:35～14:00	グループでの話し合い
14:00～14:10	発表
14:10～14:20	評価・質疑応答・まとめ
14:20～14:30	アンケート記入
14:30	閉会

【グループワークのテーマと結論】

テーマ：8020をめざすにはどうしたらいいか。



(イ)圏域名：南河内

【開催日時】平成27年11月26日（木）15時～17時

【開催場所】LIC はびきの

【研修会講師（ファシリテーター）】（順不同・敬称略）

羽曳野市歯科医師会地区代表者 山本 明平

羽曳野市歯科医師会顧問 竹田 幸弘

【参加者】5名

【参加校】3校

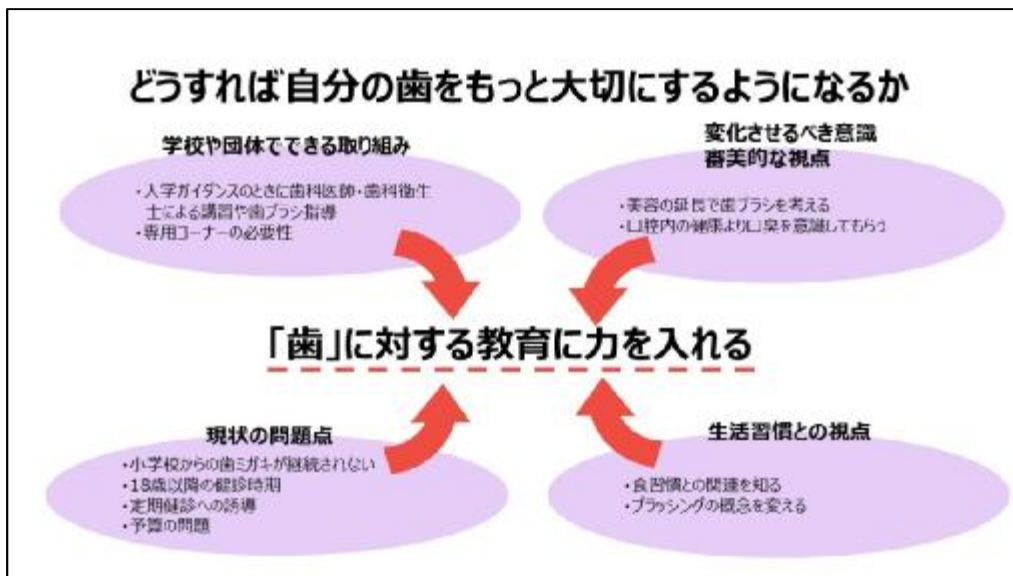
【研修会の進行表】

本日の進行

15:00～15:05	開会 あいさつ
15:05～15:15	事前説明1 本事業実施背景と大学・短期大学・専修学校における歯と口の健康づくりの意義について
15:15～15:40	事業説明2 歯と口の健康づくりの基礎知識と本日のテーマ
15:40～15:45	事前説明3 ワークショップの進め方
15:45～15:50	トイレ休憩
15:50～16:00	アイスブレイク（席替え、自己紹介）
16:00～16:40	グループディスカッション
16:40～16:50	発表
16:50～16:55	質疑応答、まとめ
16:55～17:00	アンケート記入
17:00	閉会

【グループワークのテーマと結論】

テーマ：どうすれば自分の歯をもっと大切にするようになるか。



(ウ)圏域名：堺市

【開催日時】平成27年12月3日（木）15時～17時

【開催場所】堺市口腔保健センター新館

【研修会講師（ファシリテーター）】（順不同・敬称略）

堺市歯科医師会常務理事	山上 博史
堺市歯科医師会理事	吉田 剛
堺市歯科医師会理事	高安 勇輝

【参加者】9名

【参加校】7校

【研修会の進行表】

本日の進行

15:00～15:04	開会 あいさつ
15:05～15:15	事業説明1 本事業実施背景と大学・短期大学・専修学校における歯と口の健康づくりの意義について
15:15～15:40	事業説明2 歯と口の健康づくりの基礎知識と本日のテーマ
15:40～15:45	事業説明3 ワークショップの進め方について
15:45～15:50	トイレ休憩
15:50～16:00	アイスブレイク（席替え、自己紹介）
16:00～16:40	グループディスカッション
16:40～16:50	グループごとの発表
16:50～16:55	質疑応答
16:55～17:00	アンケート記入
17:00	閉会

【グループワークのテーマと結論】

< Aグループ >テーマ：8020をめざすにはどうすれば良いか

8020をめざすにはどうすれば良いか

設定

- ・大阪の大学4年生、女性
- ・広島で就職が決まっている
- ・最近口臭が気になり、左奥の歯茎が重く腫れぼったい
- ・右側で噛むと歯がしみる
- ・あわてて一生懸命歯磨きすると歯ブラシに血がついた
- ・歯にものが詰まりやすく口も開けにくい
- ・卒業写真撮影、海外での学会、卒業旅行などの予定が目白押し
- ・歯科医院へ行く時間が中々とれない

学生の現状

- ・歯科受診をする機会が少ない
- ・自分の歯の健康に関心が薄い
- ・痛みや異物感が少しあっても何日かでなくなるため、痛みもしくは異物感が強く出るまで「歯科」というものが頭から抜けている
- ・「これくらいなら」という甘い考えがある
- ・生活習慣に関して注意する人がいない
- ・ややこしいことは後回し
- ・歯磨きが不十分
- ・就職活動やサークル活動で多忙
- ・高校までは親から歯医者へ定期的に行くよう言われていたが大学になってからはそれがなくなった

対策

- ・目で見て分かる媒体で、歯を大切にしないケースと大切にしたいケースの両方を伝える
- ・学生に対する歯科保健活動についての強化
- ・定期的な歯科受診
- ・無料検診などを活用するように促す
- ・大学などで相談窓口を利用するように促す
- ・丁寧な歯ブラシ、生活習慣
- ・年頃の女子大生が関心を持つようなしかけをつくる。TVのCMやSNSを使い広報
- ・予防歯科の知識
- ・色つきの試薬など実感しやすいもの

若いときから歯科医院へ通うようにする！

< Bグループ > テーマ： どうすれば自分の歯を大切にできるようになるか
どうすれば自分の歯を大切にできるようになるか

設定

- ・大阪の大学 4 回生、女性
- ・広島で就職が決まっている
- ・最近口臭が気になり、左奥の歯茎が重く腫れぼったい
- ・右側で噛むと歯がしみる
- ・あわてて一生懸命歯磨きすると歯ブラシに血がついた
- ・歯にもものが詰まりやすく口も開けにくい
- ・卒業写真撮影、海外での学会、卒業旅行などの予定が目白押し
- ・歯科医院へ行く時間が中々とれない

原因と対策

行動面

- ・指導を受けることへの理解を深める
- ・時間は自分で作る
- ・不規則な生活
- ・海外に行く前に治療しておいたほうが良い
- ・定期的な受診の継続が困難
- ・生活は規則正しく
- ・口臭があるのに気にならなかったのか
- ・卒論制作などで夜遅くまでおきていることが多く間食が多かった
- ・歯磨きの習慣が少なかった
- ・歯茎が痩せてきた
- ・広島での継続受診
- ・就職等の新しい環境になることでストレスを感じ口腔環境が悪化しやすい
- ・かかりつけ歯科を決めて治療する
- ・分かっているでも現在の生活に影響がないと放置する

知識面

- ・歯の健康が将来の生活に影響を与えること（妊娠・出産・育児への影響）
- ・正しいブラッシング方法を知らない
- ・口腔の環境が美容に影響することを伝える
- ・正しいブラッシングで口臭・出血はある程度改善
- ・歯のことは病気だと思っていない
- ・どうしたらこんな状態にならないのか
- ・日ごろからメンテナンスが必要だと知る
- ・そのまま放置した場合に将来どうなるかを知る
- ・歯がなくなることの全身への影響を知る
- ・情報を与える
- ・健康意識が低い
- ・教育の充実
- ・自覚があれば何かあると知ること
- ・電話相談や夜間も診療している歯科を知らない



◎ 生活・行動改善が必要

- ・歯の健康に対する知識を持つ
- ・行政や歯科医師会による情報発信を行う
- ・インターネット社会を活用する

(エ)圏域名：大阪市

【開催日時】平成27年12月3日（木）15時～17時

【開催場所】大阪北区歯科医師会 事務所

【研修会講師（ファシリテーター）】（順不同・敬称略）

大阪北区歯科医師会常務理事

樋口 春彦

大阪北区歯科医師会

水沼 武史

【参加者】4名

【参加校】4校

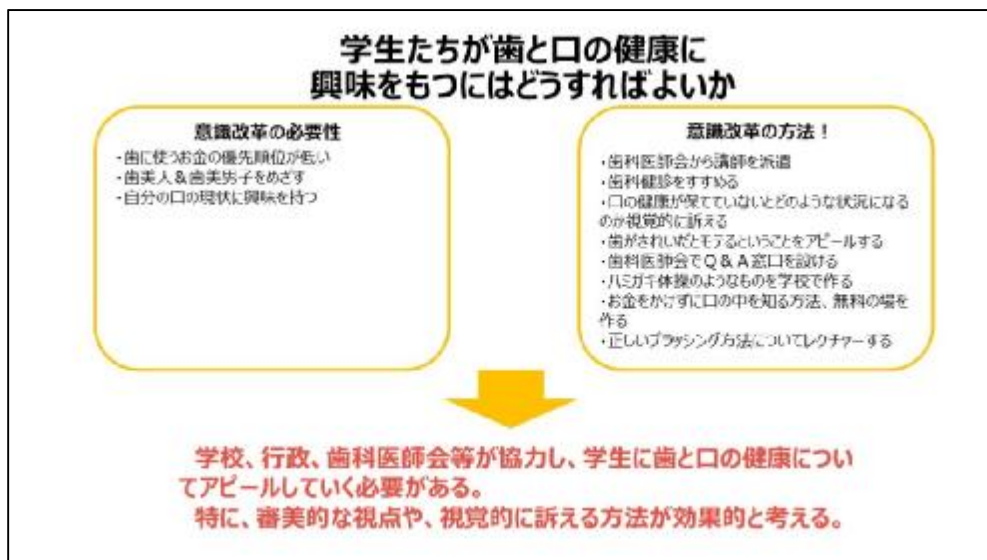
【研修会の進行表】

本日の進行

15:00～15:04	開会 あいさつ
15:05～15:15	事業説明1 本事業実施背景と歯と口の健康づくりの意義
15:15～15:40	事業説明2 歯と口の健康づくりの基礎知識と本日のテーマ
15:40～15:45	休憩
15:45～15:50	事前説明3 ワークショップの進め方について
15:50～16:00	アイスブレイク 自己紹介
16:00～16:40	グループディスカッション
16:40～16:50	質疑応答
16:50～16:55	アンケート記入
17:00	閉会

【グループワークのテーマと結論】

テーマ：学生たちが歯と口の健康に興味をもつにはどうすればよいか。



(2) 「歯と口の健康サポーター養成研修会」研修会後のアンケート調査結果

表1 平成26年度学校における歯と口の健康づくりに関する取り組み

取組み	校数	(%)
実施	6	37.5
未実施	10	62.5
合計	16	100.0

表2 平成26年度学校で実施した歯と口の健康づくりの取り組みの詳細

(複数回答可)

実施した取組み	回答数	(%)
歯科の定期健康診断	0	0.0
歯科の健康相談	1	14.3
学校行事を利用したの歯科普及啓発イベント	4	57.1
その他	2	28.6
合計	7	100.0

表3 研修内容を事前に知っていたか

知識の有無	人数	(%)
ほとんど知っていた	3	15.0
ある程度知っていた	9	45.0
知らないことが多かった	4	20.0
ほとんど初めて知った	4	20.0
合計	20	100.0

表4 研修会や手引書の内容以外で知りたいこと

- ・歯を健康に保つ方法
- ・食事・飲料との関連性。水ですすがないハミガキ方法、ブラッシング方法
- ・自分の歯の健康としての知識やケアの方法等についての内容

表5 研修による学校での歯科口腔保健の普及啓発の重要性

重要性の認識	人数	(%)
認識した	20	100.0
認識しなかった	0	0.0
合計	20	100.0

表6 普及啓発媒体（クリアファイル）の効果的な活用方法について

配布場所	(複数回答可)	
	回答数	(%)
一般定期健康診断	5	25.0
就職説明会	1	5.0
講義	12	60.0
その他	4	20.0
全体	20	

表7 学生に対する普及啓発媒体に関する意見

- ・クリアファイル・ポスターはすごくいいと思う
- ・エントリーシートデザインは学生にぴったりで口腔ケアの意識付けになると思う
- ・学生用としては内容が難しいと思う
- ・クリアファイルは学生がよく使うので、目につきやすく良いと思う
- ・もう少し学生の印象に残るものの方が良いと思う
- ・歯の健康教育の機会をつくり、教育することが必要
- ・セルフチェック項目は学生に役立っている

表8 今後の学校での歯科口腔保健に関する取り組みが実施出来るかについて

取り組みの実施	人数	(%)
可能	16	80.0
不可能	4	20.0
合計	20	100.0

表9 今後の学校での歯科口腔保健に関する取り組みについての詳細

検討できそうな取り組み	校数	(%)
普及啓発の機会増加	11	68.8
行事等での啓発コーナーの設置	4	25.0
大学独自のネット配信	1	6.3
合計	16	100.0

2-3 歯と口の健康リーダーによる学校への周知広報と実態調査

大阪府における8地域の二次医療圏のうち、平成27年度は豊能医療圏と三島医療圏に所在する大学・短大・専修学校に対して、「歯と口の健康リーダー」が大学・短大・専修学校（合計24校）に赴き、周知広報及び実態調査を行った。

また、併せて平成28年度に実施予定の「歯と口の健康サポーター養成研修会」への参加を促した。

(1) 周知広報

【周知事項】

- ・「歯と口の健康サポーター手引き」の使用方法
- ・「学生に対する普及啓発用媒体」の使用方法

(2) 実態調査

【調査項目】

- ・学校における保健担当者の有無及び職種
- ・学校での歯科健診実施状況
- ・その他、必要な事項

【実態調査結果】（以下、3月18日現在、14校集計）

表10 学校における保健担当者配置の認識の有無

認識	学校数	(%)
有	13	92.9
無	1	7.1
合計	14	100.0

表11 保健担当者の職種別配置状況（複数回答可）

配置職種	全体		(内) 大学		(内) 短大		(内) 専修学校	
	学校数	(%)	学校数	(%)	学校数	(%)	学校数	(%)
医師	11	84.6	7	87.5	1	50.0	3	100.0
看護師	11	84.6	6	75.0	2	100.0	3	100.0
保健師	9	69.2	7	87.5	2	100.0	0	0.0
その他	2	15.4	1	12.5	1	50.0	0	0.0
全体	13		8		2		3	

表12 「歯と口の健康リーダー」の周知に対する学校保健担当者の反応

設置	学校数	(%)
良い	11	78.6
普通	2	14.3
悪い	1	7.1
合計	14	100.0

表13 学校での歯科健診実施状況

歯科健診	学校数	(%)
有	0	0.0
無	14	100.0
合計	14	100.0

2-4 学生に対する歯と口の健康づくり意識調査の実施

事業評価に当たり、経年的に学生の変化を調査するため、アンケート調査を実施。

3 事業評価

平成 27 年度事業では、府内に所在する大学・短大・専修学校 24 校に対し、歯と口の健康リーダー（地域保健担当歯科医師）が、学校での歯と口の健康づくりについての取り組みを調査するとともに、平成 28 年度に実施予定の「歯と口の健康サポーター養成研修会」への参加を促した。

歯と口の健康リーダーによる調査の結果（平成 28 年 3 月 18 日現在の集計）、平成 27 年度に「歯科健診を実施している」学校が 14 校中 0 校（平成 26 年度調査：46 校中 0 校）であること、「歯と口の健康サポーター養成研修会」でのアンケート調査の結果、学校で「歯と口の健康づくりに関する取り組み」を実施した学校が 16 校中 6 校（平成 26 年度調査：7 校中 1 校）という実態を把握できた。

以上より、現在、大学生等が、学校において「歯と口の健康」に関して意識を持つ機会が、多くないことがわかるとともに、学校で学生に対して、歯と口の健康づくりの意識づけを行う必要性が示された。

本年度、歯と口の健康サポーター養成研修会には 16 校 20 名の担当者が参加した。研修会を受け、すべての参加者（20 名）が、学校での歯と口の健康づくりの取り組みの重要性について認識し、参加者のうち 16 名が、学生に対する歯科保健の普及啓発の機会を設けることを検討すると回答した。このアンケート調査結果から、「歯と口の健康サポーター」が、学校において学生に対して意識づけを実践することが期待できる。

また、各研修会のワークショップでは、「学生の意識改革の為には視覚に訴えることが効果的だと思う」という意見が多く挙げられ、平成 26 年度に各学校へ配布していた普及啓発媒体であるクリアファイルは、学生の目につきやすく良いという好意的な意見が多数でた。このことから、本事業で作成した普及啓発媒体は、学生の意識向上に当たり、有用性が期待される。

以上のことから、次年度以降も、「歯と口の健康サポーター養成研修会」を地域で実施し、「歯と口の健康サポーター」をさらに養成するとともに、「歯と口の健康サポーター」が学校で歯と口の健康づくりに関する取り組みを実施することによる学生の意識変化の状況についても評価していくことが望まれる。